

「逃げ遅れる人々」

～東日本大震災と障害者～

2011年3月11日、東日本大震災。

障がいを持つ人たちに何が起きたのか？

現在、何が起きているのか？

そして、これから私たちがやるべきことは・・・

「当事者」の方々を囲みながら考えてみませんか？

小野和佳さん

震災当時はNPO法人「いわき自立生活センター」勤務。
現在はNPO法人「神奈川県障害者自立生活支援センター」勤務。障がい名は脳性麻痺。神奈川県内で一人暮らし。

青田由幸さん

NPO法人 さぼーとセンター
ぴあ 代表理事。南相馬市に通所障がい者施設「デイさぼーと・ぴーなっつ」など4つの事業所を運営。原発事故後も南相馬に残り、障がい者、高齢者の支援を続けています。

小木曾正子さん

藤沢市在住。
お子さんは藤沢市の中学校の特別支援学級に在籍中。

日時:2015年1月24日(土)14:00～16:00 (13:30 受付開始)

会場:カトリック藤沢教会聖堂 藤沢駅南口から5分 駐車場なし

* 当日資料代として500円頂きます。

* 障害者用の駐車スペースあります。* 手話通訳あり。

* 配慮すべきことがありましたら、お手教を事前にご連絡ください。

主催:NPO法人「子ども達に未来を in 湘南」代表 羽田一郎

連絡先 電話/ファックス:0466-55-2251

協力:カトリック藤沢教会

後援:藤沢市、藤沢市社会福祉協議会

NPO 法人 **こども達に未来を in 湘南** の活動について

私たち NPO 法人「こども達に未来を in 湘南」は、福島第一原発事故の被害を受けているこども達とその家族のみなさんや、仮設住宅にお住いのみなさんを湘南で保養して頂くプログラムを実施しています。(主催団体「福島の子ども達を湘南に呼ぼう！」藤沢実行委員会の構成団体および事務局として活動)

簡単ではありますが、これまでに実施した 8 回のプログラムをご紹介します。

①2012 年 8 月 20 日～24 日

児童養護施設「福島愛育園」のみなさん 83 名を湘南に招待しました。宿泊場所は藤沢市立白浜養護学校と藤沢市立高砂小学校。地引網やキャンプを楽しみました。

②2012 年 12 月 23 日～26 日

南相馬市の小学生とその家族 15 名を湘南に招待しました。遊行寺を宿泊場所として、湘南や横浜の観光をしました。24 日にはカトリック藤沢教会のクリスマスミサに参加しました。

③2013 年 3 月 28 日～31 日

南相馬市の小学生とその家族 25 名を招待しました。宿泊場所は中井町の古民家と児童館を利用しました。地域のみなさんの温かい歓迎を受け、楽しい 4 日間を過ごして頂けたと思います。

④2013 年 7 月～29 日

南相馬市の小学生とその家族 25 名を湘南に招待しました。宿泊場所は寒川町の寒川神社・少年館にお世話になりました。新江ノ島水族館見学や、江ノ電乗車、横浜観光を楽しみました。

⑤2013 年 8 月 2 日～4 日

児童養護施設「福島愛育園」のみなさん 54 名を招待しました。鎌倉建長寺に宿泊しました。建長寺では座禅や、食法に従った朝食を体験しました。フリープランの日には、釣りや江ノ島観光等を行いました。

⑥2014 年 3 月 26 日～29 日

南相馬市の小学生とその家族 39 名を招待しました。再度寒川神社・少年館にお世話になりました。新江ノ島水族館や横浜の日清カップヌードルミュージアムで世界に一つのマイカップヌードルづくりを体験しました。

⑦2014 年 7 月 28 日～31 日

大熊町から会津若松市やいわき市に避難している方や、南相馬市、川俣町、大玉村にお住まいの方々 30 名(子供 11 名)を招待しました。

日本大学生物資源科学部農場研修センターを宿泊場所としてお借りし、辻堂海岸での地引網などを楽しみました。

⑧2014 年 8 月 25 日～28 日

いわき市に避難している檜葉町の方々を中心に 40 名のみなさんを招待しました。鎌倉建長寺を宿泊場所にして古都鎌倉観光や江ノ電を利用しての江ノ島観光などをしました。「また来るからね」という声を残し、たくさんのお土産とともに、いわき市に戻られました。

講演会 「逃げ遅れる人々」

日時： 2015年1月24日（土）14：00～16：00

場所： カトリック藤沢教会聖堂

主催： NPO 法人「こども達に未来を in 湘南」

登壇者： 小野和佳さん NPO 法人「神奈川県障害者自立生活支援センター」勤務
青田由幸さん NPO 邦人 さぼーとセンター ぴあ 代表理事
小木曾正子さん お子さんが藤沢市の特別支援学級（中学校）に在籍中

2011年3月11日、東日本大震災で障がいのために地震、津波から逃げ遅れた人々がいました。またかろうじて命が助かり避難所に避難した方々もその後の生活に大変苦労したという事実がありましたが、当時は障がい児・者の方々のご苦労については殆ど報道されることはありませんでした。

この講演会に先立ち、昨年 月に映画「逃げ遅れる人々」を、当時いわき市在住の小野和佳さんのお話を伺いながら、我々「こども達に未来を in 湘南」のスタッフは観る機会を得ました。この映画を観て我々は大きな衝撃を受けたと同時に、もっと多くの人々、障がい児・者の方々、そのご家族、そして特にその周りにいて何も気づかず生活している人々に観てもらいたい、と強く思いました。その思いがこの講演会を開催することになった大きな理由の一つです。

講演会では、まず小野さん、青田さんそれぞれに、震災当時の身障者の方々の被災状況や避難生活の様子をお話頂きました。そしてその後、小木曾さんが障害児を持つ親の立場から、今後起こるであろう大地震にどう対処したらよいのか、等の具体的な質問を交えながらお話して頂きました。当事者ならではの迫力あるお話、きめの細かい質問等々、とても有意義な公演内容だったと思います。

会場には障がい児・者および保護者なども多数参加してくださってました。講演会終了後の2次会にはもう少し話したい方々に残って頂き、場所を教会303号室に移して直接講演者の方々や「こども未来」のスタッフと話して頂きました。2次会の話し合いも大いに盛り上がり、次回は、近隣の方々とも情報を分かち合ったより具体的な避難方法などについての講演会を開催しましょう！という次の目標を掲げたところでその日の講演会の日程は終了しました。



左から小野さん、青田さん、小木曾さん



約80名ほどの参加者でした。